

令和5年度 「学校教育活動に関する評価」アンケートの結果 及び 学校関係者評価表

※アンケート結果は、昨年度に比べて肯定的意見率が3%(教職員は6%)以上上回っている数値には(↑)、3%(教職員は6%)以上下回っている数値には(↓)を記しました。

評価領域	本年度の重点目標	具体的取組 (具体的な指標等)	アンケート内容とその結果		学校関係者評価委員会の意見	成 果◎ ・ 課 題△
			質問項目 児童:(児) 保護者:(保) 教職員:(教)	結果		
確かな 学力	基礎・基本の定着を重視し、自ら学ぶ意欲と態度、確かな学力を育成する。	○TTや習熟度別学習など学習形態や指導方法を工夫して、学習展開する。 ○「ぐんぐんタイム」や「振り返り週間」等による補充的な学習の時間を確保する。	(児)授業中、すすんで学習していますか。 (児)学校での授業はわかりやすいですか。 (児)外国語の学習は、楽しいですか。(新設問)	87% 87% 73%	教員の授業改善が図られたことにより、主体的な学びの実現がなされている。児童や保護者、教員ともに目標をしっかりと理解している。日々の学習指導への努力が見られて良いと思う。 TTや少人数指導等については、よく理解されていないところが見られるので、保護者会での説明やPRする機会を検討すべきである。 児童たちが主体的に学習活動に取り組んでいて、児童・保護者ともに高い評価を得ている点は、とても素晴らしいことである。授業を行うにあたり、教職員が色々な工夫や仕掛けを考え、取り組んでいることが理解できる。 少人数教育やTT等の授業手法について、保護者の理解度が低いのは、元々これらの言葉が教育用語であり、保護者にとっては、より詳しい説明と期待される成果などの説明がないと、正しい理解が得られないからではないかと考える。	◎「自分から進んで」では児童、保護者とも高い数値を維持している。また、授業がわかりやすいという児童も多く、指導内容を工夫するなど、効果的に行き、きめ細かな指導を心がけることができた。 △少人数やT,Tでの授業について、保護者の評価が低くなっている。学習形態の工夫について、中学校と連携を図りながら、学力向上に向けての活動に取り組んでいく。 △「主体的な学び」について、教職員の数値が昨年度と比較すると低くなっている。話し合い活動や意思決定をする場面を意図的に組み入れること、互いのよさを認め合うことなどの授業改善をさらに努め、意識化していく。
			(保)お子さんは、自分から進んで学ぼうとしていますか。 (保)学校がお子さんの学力向上のため、T・Tや少人数指導を行っていることを知っていますか。 (保)教職員は、個々のよさを引き出すよう子どもをよく見ながら、個に応じた支援をしていますか。 (保)お子さんは、外国語の学習を通して、外国語に親しんでいると思いますか。(新設問)	87% 77% ↓ 90% 82%		
豊かな 心	道徳教育の充実を図り、豊かな人間性と感性を育成するとともに、いじめのない明るい学校を目指す。	○道徳科の時間を確保して、考えて議論する道徳の授業を展開し、「新しい道徳」を活用した指導の工夫を図る。 ○福祉教育に係る体験活動を実施する。 ○特別支援学級や異学年との交流を充実させる。	(児)学校で、まわりの人にやさしくしていますか。	92%	道徳教育の充実が図られ実践されている。いじめのない学校を目指している姿が数値に現れている。反面「いじめ防止方針」の家庭への情報提供が求められる。 特別支援学級と通常学級との交流の様子を周知する方法をさらに改善していくとよいと考える。 定期的に行われている児童向けの「生活アンケート」の結果に基づき、適切にヒアリング等を行い、職員間で共有化し、場合によっては、専門的知識をもった教職員と連携して対応ができている点がしっかりと保護者の間で高く認知されていることは嬉しい限りである。今後とも、適時適切に対応頂けるように願う。 「いじめ防止基本方針」については、あらゆる機会を通して保護者へ説明することや、ホームページ等に記載されている冗長な文章になっている方針説明文を、理解を深めやすく簡略化し、説明図等を入れて準備されることで改善が進むと考える。	◎3ヶ月に1回行われる「生活アンケート」の結果をもとに、聞き取りを行い、毎月の生徒指導・特別支援部会で全職員に報告し、共通理解を行っている。 特別支援教育コーディネーターやSC、SLCとも連携することで、児童は安心して話すことができています。 ◎校内研究では、明海中学校や明海認定こども園とともに道徳科を研修し、同じ講師の指導を適宜受けることにより、園・小中連携を意識した指導力向上を図ることができた。 △「豊かな人間関係作り」や「命の大切さ」に重点をおく道徳の授業について、教職員の数値がやや低くなっている。「道徳の時間」を確保し、考えて議論する道徳授業を展開するよう、教材研究等の充実を図っていく。 △本校のいじめ防止基本方針について、保護者の認知度が低くなっている。学校だよりや学校HP等を活用して、より保護者に分かりやすい形で、家庭への周知に努める。
			(保)お子さんに思いやりや優しさ、感謝の気持ちが育っていますか。 (保)本校のいじめ防止基本方針(HIP掲載)を知っていますか。 (保)学校はいじめなどのない楽しい学校づくりに努めていますか。 (保)本校に特別支援コーディネーターがいることを知っていますか。 (保)お子様と道徳性につながるような話題をすることがありますか。(新設問)	97% 59% ↓ 93% 81% 91%		
健やかな 体	健康教育の推進と体力の向上を図る。	○外部講師を活用した食育授業・命の学習を行う。 ○業間休みや昼休みを活用し、体育の日常化に向けた取組を行う。	(保)学校がお子さんの体力向上をめざした取組を行っていることを知っていますか。	70%	中学校との連携による縄跳び週間等、ユニークな活動が行われており、楽しく体力を身に付けていることは良い事である。「投力」の練習教室に見られるように、それぞれの運動能力のコツを正しく指導し、楽しみながらも目標設定をして、継続的に各自の達成の喜びを味わわせていただければと考える。 小、中学校の連携が授業の中で見られる。また、児童・生徒の交流も見られる。体力向上については、今後とも工夫の必要がある。	◎体育委員会を中心に、年間を通して各運動に取り組んでいる。縄跳び週間では、明海中学校の生徒が検定員として参加し、意欲の向上を図ることができた。また、投力をつける運動教室においても自分の記録を伸ばすことに意識して取り組むことができた。体育学習と連携して行うことで、業間休みや昼休みにも取り組む児童が増えた。
			(教)児童が楽しく学校生活を送れるよう対応していますか。 (教)児童の体力向上にむけ工夫していますか。	96% 77%		
豊かな かかわり	コミュニケーション能力を身に付け、人との関わりを大切に活動する意欲と態度を育てる。	○「共感的理解」の醸造、「表現する力」の育成を目指した研究を行う。 ○様々な集団での異学年交流を行う。 ○あいさつ運動を行う。	(児)すすんであいさつをしていますか。 (児)授業中、話し合い活動にしっかり取り組み、意見をわかりやすく伝えたり、書いたり、人の意見をじっくり聞いていますか。(新設問)	89% 86%	市内小中学校の挨拶の定着は薄いように思われる。道徳などで内面に響く授業を実施し、実践力を育てたい。また、評価を行い、児童にも伝え、向上を図ることを願っている。 保護者が、どのような場面で子供が進んで挨拶をできていないのかを確認できていないのではないかと思われる。 挨拶ができているかどうかについて、保護者の評価が低いことは残念であるが、朝の見守りなどで児童の様子を見ている限り、挨拶はともよくできていると感じている。また、挨拶そのものの中身も形式的な挨拶に加えて、相手を思う気持ち「いつもありがとうございます。」「ご苦労様です。)」が込められた挨拶をできる児童もあり、大変うれしく思う。	△あいさつについては、朝の登校時の見守り等で積極的に行っているが、昨年度に比べ保護者の数値が低くなっている。学校の気持ちよいスタートのためにも、保護者の協力も得ながら、相手意識をもった挨拶ができるように意識化を図っていく。 △今年度からコロナ禍の制限が緩和され、少しずつではあるが、学習活動への社会人活用を取り入れながら、実践することができた。来年度に向けて、今年度の学習活動の見直しを図り、より積極的に多様な人材を活用していく。
			(保)お子さんは、進んであいさつをしていますか。 (教)進んであいさつをするよう声かけをしていますか。 (教)あなたは、保護者及び地域の方々など、多様な人材を教育活動に登用し、学校(または学年)の活性化を図っていますか(キャリア教育・カリキュラムマネジメント) (教)あなたは校内研の充実を図り、教科の実践研究を通して専門性を高め、資質の向上に努めていますか。	73% ↓ 96% 78% ↓ 95%		
郷土愛	生まれ育った明海地区に誇りを持ち、地域の人や施設等を大切にすることを心や態度を育てる。	○町探検や安全マップ・福祉マップの作成等により、地域を理解する。 ○地域を教材とした教育活動を実施し、学習活動参観などを通して、保護者や地域との関わりを深める。	(児)マナーを守り、地域にあるもの、皆で使うものを大切にしていますか。 (児)あなたは地域の活動に、進んで参加していますか。	98% 63%	市内小中学校での評価項目の郷土愛は、全体的に低いと捉えている。しかし、強制して地域活動への参加は望ましくないと考える。児童が、参加したくなるような地域行事等を考える必要があると思われる。 地域活動の目指すものを明確化し、児童にとっての参加の意義を検討すべきである。	◎公共施設の活用状況や使い方のマナーに対し、昨年度に比べて保護者の数値が高くなっている。今後も道徳科や学級活動の時間等に指導を行いながら、より公共物を大切にすることを育てていく。 △地域への活動の参加について、保護者の数値は昨年度に比べ25%以上減少している。教員による地域行事への参加の呼びかけなどを行い、子どもたちの地域活動への意欲関心を高めていく。
			(保)お子さんは、公共マナーを守り、地域の環境や施設等を大切にしていますか。 (保)お子さんは、きまりや約束事を守っていますか。 (保)お子さんは、地域の活動や行事に進んで参加し、地域の方と交流していますか。 (教)児童が公共マナーを守り、地域の環境や施設等を大切にすることが育つような声かけをしていますか。 (教)児童が参加する地域の活動や行事について紹介していますか。	99% ↑ 89% 71% ↓ 96% 58% ↓		
危機管理 体制の整備	安全点検を生かし、危機管理に努める。	○安全点検の確実な実施により、事故やけがを未然に防ぐ体制を構築する。 ○不審者侵入や火災、地震発生に対する避難体制、地域と連携した防災体制を整備する。(外部施設との連携)	(児)困った時やなやんだ時に、相談できる人がいますか。	84%	本校の人権教育の充実が見られる。 児童の危険予知能力等も身についているように思われる。これは全教職員の日々の努力が伝わってくる。 教職員の危機管理体制についての意識の高さは、素晴らしい。 児童向けの相談業務の充実、学校内の避難訓練や不審者、対応訓練を計画的に行っている、毎月の安全点検の実施等によって、学校内が安心安全の場になっている事は、心強いことである。同時に、地域との関係で、管理職が避難所運営本部会議等にも参加され、防災にも目を向けて動いてくださるっていることありがたい。今後とも学校の内外の安全性の確保をお願いしたい。	◎本年度も、相談窓口としてSLCやSCが配置されたため、児童の相談できる存在の認識は高い。保護者についても数値は高く、特別支援教育コーディネーターやSLC、SC、養護教諭等の関わりが大きいと考えられる。今後も相談業務内容を引き継ぎ、児童や保護者への対応に備えていく。 ◎避難訓練や不審者対応訓練について、計画的に実施することができた。また、毎月の安全点検実施により、校内の安全管理に努めることができた。
			(保)教職員は、子どもの人権を尊重し、お子さんが困ったときなど適切に対応していますか。 (保)学校は子どもたちが安心して通わせられる環境になっていますか。 (教)学校事故を未然に防止するため、子どもの危険予知能力や危険回避能力の育成に努めていますか。	94% 97% 100%		
学校の 教育目標の具 現化	自ら学び、認め合い、たくましく生きる児童の育成	○人間性豊かな児童の育成のため創意工夫のある教育活動の推進に努める。 ○明海中学校との連携活動や明海小学校、明海認定こども園等との交流活動を行う。	(児)学校へ行くのは楽しいですか。 (児)今、自分には自信(得意なものなど)がありますか。 (児)明海南小学校をきれいにしようと掃除をがんばっていますか。	78% ↓ 91% ↑ 95%	自分に自信を持って、児童が学びを続けている事は大変素晴らしいことだと考える。 学校に通うことが楽しいと感じている児童がやや減っている点は気になるが、学校は児童にとって自己肯定感の持てる、楽しい居場所であることが重要であると考ええる。分かる授業の実践や工夫を進め、各種イベント等の充実を図っていただければ願う。 78%の児童は、学校が楽しいと評価しているが、残りの22%の児童への対応が望まれる。 今後も教師の児童理解の深まりを期待したい。	◎自分に自信(得意なものなど)があるかについては、児童の数値が昨年度よりも7ポイントほど高い結果となった。主体的に学ぶことができるような課題の設定や学び方、自ら選択する場を工夫した指導等、引き続き取り組んでいく。 △児童の学校へ通う楽しさについては、昨年度に比べ6%低く、特に低学年や中学年児童の数値が低い結果となった。わかる授業の実践や工夫、休み時間の過ごし方や各種委員会活動のイベントの開催等、実践できることに取り組んでいく。
			(保)お子さんは学校へ楽しんで通っていますか。 (保)お子さんは、自分に自信(得意なものなど)がありますか。 (教)あなたは子どもたちの自主的な体験活動の機会となるよう、活動や内容を創意工夫し実践していますか。(カリキュラムマネジメント) (教)児童は明海南小学校をきれいにしようと掃除に取り組んでいますか。	93% 86% 87% ↓ 72% ↓		

授業、行事、施設等に関する保護者のみなさんの意見・感想

- ・中学校との交流や施設利用を積極的に行い、身近な場、身近な先生・先輩となるような機会を多く作っていった欲しい。【令和7年度小中合同校舎での学習活動に向けて、次年度から状況を踏まえながら検討し、実践していきます。】
- ・授業参観が、低学年・高学年でも同日だと助かります。また、土曜日の参観ももう少しあれば嬉しいです。【全校同日開催の学習参観を検討し、日程調整を行っています。】